

我が国初の鉄道分野における認証機関の認定について

平成24年9月6日、(独)交通安全環境研究所は、我が国では初めて鉄道分野における国際規格の認証機関として認定を受けました。

これまでの我が国の企業は、海外の認証機関を利用していましたが、説明資料の翻訳、外国語での説明、渡航費用、時差等による作業の遅れといった課題が解消されることとなります。

これにより、国内企業が認証を取得しやすくなり、我が国鉄道システムの更なる海外展開が期待されます。

[概要]

海外の鉄道プロジェクトでは、鉄道システムの国際規格への準拠とともに、第三者機関による認証が求められることが多くなっています。しかしながら、日本においては、鉄道分野の国際規格適合性に関する認証機関が存在しないことが課題となっていました。

このような背景から、交通政策審議会陸上交通分科会鉄道部会において、国際規格適合性評価のあり方に関する検討の必要性について提言され、(独)交通安全環境研究所(以下、交通研)を対象に海外鉄道案件対応の認証機関を設立するための検討が進められてきました。

交通研では、昨年4月に「鉄道認証室」を設置して、認証機関として認定を取得する準備を進め、平成24年9月6日、(独)製品評価技術基盤機構認定センターより、我が国初の鉄道分野の認証機関として認定を取得しました。

我が国の企業が交通研を利用することにより、従来の海外認証機関を利用するのに比べ、費用面、時間面などの様々なコスト低減等が見込まれ、我が国鉄道システムの更なる海外展開が期待されます。

<問い合わせ先>

国土交通省鉄道局技術企画課車両工業企画室 磯本

TEL : 03-5253-8111 (内線 57864)

03-5253-8524 (直通)

FAX : 03-5253-1634

認証対象の国際規格について

交通研では、海外の鉄道プロジェクトでニーズの高い以下の5規格の認定取得を目指しており、そのうち、今回認定を受けた認証対象の国際規格は、鉄道信号システムの電子装置の安全性に関する IEC 62425（セーフティケース）です。他の4規格についても順次認定を取得していく予定です。

海外の鉄道プロジェクトでニーズの高い規格とその概要

| 規格番号 | 概 要 |
|---------------------------------|---|
| IEC 62278 (RAMS) | 鉄道システムの安全性や信頼性に関する規格 (RAMS : Reliability (信頼性)、Availability (アベイラビリティ)、Maintainability (保全性)、Safety (安全性)) |
| IEC 62279 (ソフトウェア) | 鉄道信号システムのソフトウェアの安全性に関する規格 |
| IEC 62280 (通信) | 鉄道信号システムの通信の安全性に関する規格 |
| IEC 62425 (セーフティケース) | 鉄道信号システムの電子装置の安全性に関する規格 (今回認定を取得) |
| IEC 62236 (EMC) | 鉄道システムの電磁界に関する規格 (EMC : Electro-Magnetic Compatibility) |

※IEC規格は、国際電気標準会議 (International Electrotechnical Commission) が制定する国際規格です。

交通政策審議会陸上交通分科会鉄道部会 提言（平成20年6月19日）について

鉄道産業の国際展開に資する国際規格適合性評価のあり方に関する検討の必要性については、交通政策審議会陸上交通分科会鉄道部会において提言がなされ、鉄道分野の認証機関に関する検討が進められてきました。提言の抜粋は、以下のとおりです。

環境新時代を切り拓く、鉄道の未来像

第4節 我が国の鉄道システムの海外展開と国際貢献のあり方 — 地球環境問題への貢献と、我が国鉄道の技術力・競争力の向上 —

3. 国際規格に関する今後の対応

【今後の取組み】

今後、我が国の技術・規格の国際規格化と国際規格との適合性の確保を図るべく、国や、鉄道事業者、メーカー、研究機関、関係団体等の関係者が共通の認識の下で先を見通した戦略を策定・推進し、国際的素養と技術力を備えた人材による体制の充実・強化を図るとともに、我が国の鉄道システムの海外PRに取り組むことが必要であり、今後の取組みにあたっては、国も積極的に関与することが求められている。

また、我が国においては製品の確認・検査は鉄道事業者が行っており、第三者認証機関は存在していないため、今後、我が国の製品の国際規格への適合性評価のあり方を検討する必要がある。

(後略)